

---

プロシーディング

---

2005年度明倫短期大学 第1回公開講座・シンポジウム

歯のエステ講座「素敵な笑顔のつくりかた」

日時：2005年6月18日(土) 14:00～16:00

会場：明倫短期大学大講堂

座長 コーディネーター

明倫短期大学歯科技工士学科講師

木暮 ミカ

主 旨

歯には機能的な側面と美的な側面がありますが、その両面に焦点を当てて幼年期から老年期まで、その年代にあった口元の健康と健康美を求めていこうというのが審美歯科のコンセプトです。つまり旧来の一般歯科における最終治療目標が齲蝕などの病気の治療としているのに対し、審美歯科治療ではもう一段階目標レベルを上げて、治療後の顔貌の美しさにも配慮した総合的な歯科治療を行う点で大きく異なるのです。

『審美歯科』という言葉は『デンタルエステティックス』の翻訳で、1990年代にロスアンゼルス歯科医達からおこり、世界的なブームになっているのは周知の事実です。

今回のシンポジウムを機会に、審美歯科に対する正しい知識を得ていただくために、審美歯科医がどのような歯科治療を目指しているのか、また今日の審美歯科治療としてどのようなことが出来るのかということをご一般の方々に知っていただき、歯や口元の美しさについて再認識し、若々しく健康に暮らすという日常生活の質の向上を考える機会にさせていただくことを目指し、企画させていただきました。

演題と演者

審美歯科の最前線「おとなの歯の矯正」…………… 花田晃治 (明倫短期大学教授)

「PMT Cとホワイトニング」…………… 金子 潤 (明倫短期大学教授)

「あなたに似合う歯・色の選び方」…………… 木暮ミカ (明倫短期大学講師)

まとめ

今回のシンポジウムでは、各演者よりおとなの歯の矯正、最新ホワイトニング術、審美歯科治療方法と歯のマニキュア、そしてスマイルトレーニング法について等々、多岐にわたりお話いただきました。その内容は最新の治療技術についてご自身の臨床症例など貴重な資料を惜しみなく公開していただきながらも、一般の方々に分かりやすく噛み砕いた説明に、皆さん最後まで興味深く耳を傾けていました。

当日は4種類のブレンド・ハーブ・ティーを用意し、各演者の講演の合間に楽しんでいただき、大変リラックスした雰囲気での講座となりました(図1～3)。

最後に、今回コーディネーターとして以下の二点を新規に試み、シンポジウムの成功の一助となりましたことも併せてご報告いたします。

1. 双方向コミュニケーション型の進行：臨床で患者さんから頻繁に尋ねられる質問をもとに、多くの人が抱くような質問をあらかじめ3つ用意しておき、講演の要所々々で司会役が演者にそれを質問し、演者がそ

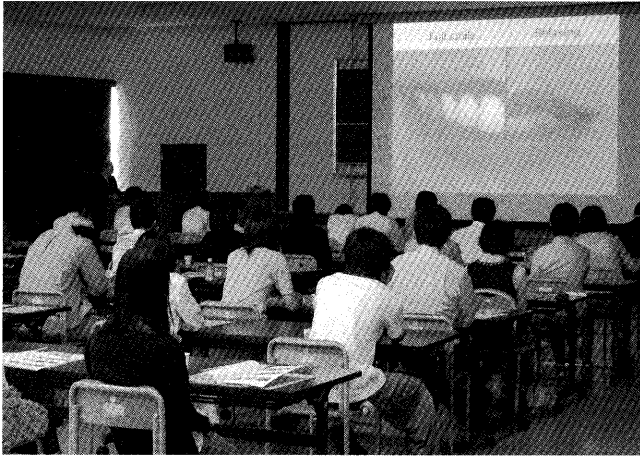


図 1

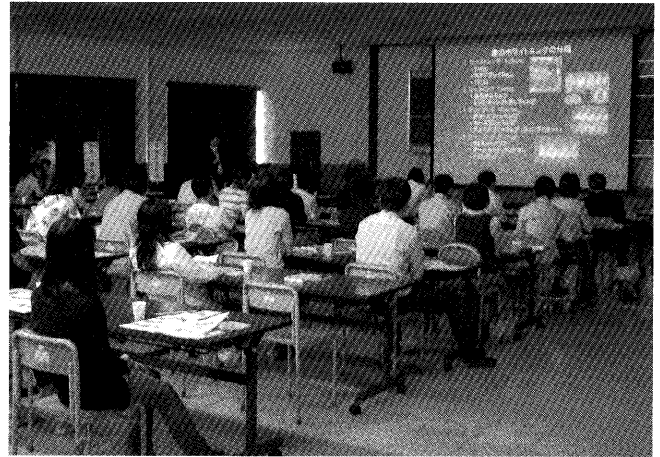


図 2



図 3



図 4

れに答えながら講演を進行させるという形式を試みてみましたところ、一方的に演者が話すだけの講演よりも理解しやすかったとの感想をいただきました。また、開始直前にデジタルカメラにて参加者全員の笑顔を撮影し、印刷した画像を貼り付けたオリジナルリーフレットを配布し、スマイルトレーニングの効果を実感していただきました。

2. 広報活動の拡大・強化：今回は公開講座始まって以来の大規模な広報活動を行いました。ラジオ局、新聞、地方情報誌などへの広報はもとより、情報番組へのテレビ出演やインターネットに特設サイト（図4）をオープンしてのパソコンや携帯電話を利用した広報活動も積極的に行った結果、学生の動員なしに一般の参加者だけで70名弱の方が参加してくださいました。

今後とも審美歯科治療に関するシンポジウムを継続して開催し、明倫短期大学から審美歯科治療の最新情報を一般の方々に発信していくことで、多くの方が健康で美しい「素敵な笑顔」を手に入れることができるのではないかと考えております。